

「1分間おもしろサイエンス動画」と 愛媛のリモート事業の展開

愛媛県総合科学博物館 専門学芸員 進 悦子

1. はじめに

新型コロナウイルスの影響により学校は休校となり、博物館も休館となる状況の中で、実施し好評を得た「1分間おもしろサイエンス動画」SNS配信や、他府県からの研究発表者に対して急遽行なったリモートでの対応など、離れた人や場所とのつながりを作るためのリモート対応事例、今後の発展を紹介します。

2. 「おうちでやってみよう！おもしろサイエンス1分間動画」

令和2年3月初旬、新型コロナウイルスの影響により学校は臨時休校となり、子どもたちは自宅で過ごすこととなりました。この状況の中において博物館は、リモートでの一般へのサービスとして、これまで行ってきた数ある実験や工作の中から、家庭で簡単に楽しめる内容をピックアップし、1分間で紹介する動画を作成して当館公式SNS（Facebook/Twitter/Instagram）で配信し紹介することにしました。また、博物館周辺で見ることのできる動植物など自然史系の動画も配信しました。

“1分間”にこだわったのは、1本の動画を最後まで見てもらいやすい、Twitter/Instagramでは1分以内の動画は自動再生されるため何度も繰り返し見てもらえる、再生回数も稼げる、などメリットがあるため。「できそう」「やってみたい」と思わせるようなおもしろさを前面に出して動画内で原理は説明せず、詳しい解説や実験のコツなどはすべてコメント欄で紹介することとしました。

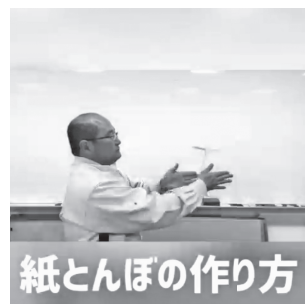
3月12日よりスタートし、7月3日までこのシリーズを配信し続けました。配信内容は別表「やってみよう！おもしろサイエンス1分動画 一覧」のとおりです。



カラフル焼きそば



虹の実験



紙トンボの作り方

3. 動画配信後の反響

この動画シリーズの Facebook での再生回数は、最初の動画は目標だった 300 回を配信当日で達成し、1 週間後には 1500 回を超えました。今までの動画はアップして数ヶ月経っても 100 ～ 200 回程度だったので、短期間で 10 倍近く数値が上がる結果となりました。この動画を見た各メディアから、動画に関する問い合わせや取材依頼がありました。時折、コメント欄に「やってみました」「作ってみました」と画像付きで一般の方からの書き込みがありました。

1) メディアでの紹介

配信後、新聞社の取材と地方テレビ局より撮影の依頼が多数寄せられました。実験の動画の撮影風景、編集作業をしているメイキングの様子が紹介されました。コロナ感染拡大のニュース、様々なイベント事が中止となる自粛ムードの中、唯一の明るい話題としてこの動画が取り上げられました。



テレビニュースで動画のメイキングが紹介されました

2) テレビ番組での動画内容の紹介

NHK 松山放送局の情報番組「ひめポン」において、当館の科学実験室と中継でつなぎ、おもしろ実験をアナウンサーの方に実験室で挑戦してもらいました。番組終了後に、実験動画を SNS にアップしました。また、名古屋テレビの朝の情報番組「ドデスカ」では、当館の 1 分間動画「カラフル焼きそば」を見ながら実際にスタジオで作って紹介してくれました。

4. 他の科学館との連携～めざせ日本一周！サイエンスショーリレー～

臨時休館やイベント中止を余儀なくされた全国の科学館と協力して、各館のサイエンスショー動画を SNS でアップし、他の科学館とリレーのように繋いでいく企画「めざせ日本 1 周！サイエンスショーリレー」に当館も参加しました。日立シビックセンター科学館が中心となり、名古屋市科学館、浜松科学館、そして愛媛県総合科学博物館の 4 館が動画を制作しました。その後、この事業を全国版へ規模を拡大して、夏休み期間の 7 ～ 8 月に全国 23 館の科学館がリレーでつなぎ 35 回のサイエンスショー動画が配信され、当館も 2 回動画をアップしました。館の

紹介と実験動画も入れて3分以内に編集し、1分動画と同じスタイルで制作しました。また、これを機に当館公式YouTubeチャンネルを7月に新設し、ここでも配信しました。インターネットを利用しての動画投稿によって、普段の利用者だけでなく全国、全世界の人が見ることができ、また、他の科学館と動画を繋ぐことで、遠方の視聴者にも当館を知ってもらうことができました。



空きビンマジック

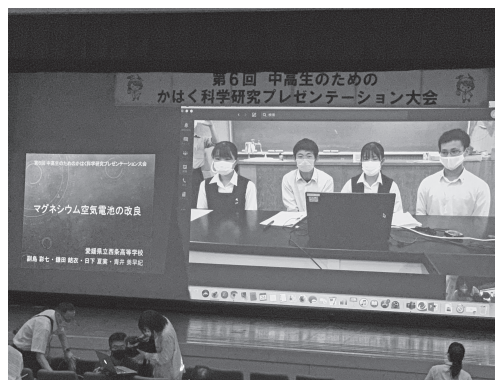
5. その他のリモート事業

1) ゴールデンウィークイベント

GWに毎年行う科学イベントが中止となったため、行う予定だった科学実験の動画を撮影・編集し、SNS配信しました。この時配信したのは、「ジャンボシャボン玉」「巨大空気砲」「超強力磁石」の実験動画です。

2) 中高生のためのかはくプレゼンテーション大会のリモート発表

中高生の日頃の理科研究活動の支援を目的として当館で毎年夏に開催しています。県内や近県からの参加がありますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、県をまたぐ移動の自粛の通達が教育委員会からあり、香川県高松市の高校1校の来館ができなくなりました。その為、急遽リモートでの研究発表を行う対応を取りました。Microsoft Teamsを使用して香川県の高校と当館会場をつなぎ、プレゼンの様子をプロジェクターで投影しました。また、質疑応答もリモートで行いました。



3) スペシャルサイエンスショーのライブ配信

夏のスペシャルサイエンスショー「液体窒素のサイエンスショー」を、当館の多目的ホールで行いました。その模様を当館公式 Facebook でライブ配信し、47 人が視聴しました。

6. かはくサイエンススタジオの設置と今後の展開

1) 「かはくサイエンススタジオ」の設置

デジタル化関連事業の予算を獲得し、常設展示室内に「かはくサイエンススタジオ」を設置することとなりました。ここでは、撮影機材や背景、動画編集用 PC と Wi-Fi 環境を整え、動画の撮影と編集作業、動画ライブ配信も行うことができます。常設展示内に設置するので、来館者は撮影の様子を見ることができます。撮影を行っていないときは、これまで作成した動画をテレビ画面で再生し、いつでも来館者が楽しめるようにする予定です。このスタジオは、令和 3 年 4 月 1 日から運用スタートの予定です。

2) 今後の展開について

これから開催するイベントや企画展に関して 1 分間の PR 動画を作成し、集客につなげていったり、なかなか来ることのできない方のために展示の一部をピックアップして解説するなど、科学の見える化を図ったりしていきたいと思います。また、新設のサイエンススタジオを使って、科学実験ライブ配信やリモート講義などを行います。学校と連携して、インターネットでつなげてライブ実験教室や講義を行うことも検討中です。

コロナ禍にあってもオンラインを活用する方法で、科学の楽しさや情報を発信し続け、遠く離れた人、来ることのできない人と繋がり、科学博物館の社会的役割を果たしていきたいと考えております。



恐竜ロボットと一緒に体を動かす動画「みんなで一緒に！恐竜体操」

やってみよう！おもしろサイエンス1分動画 一覧

	配信日	タイトル	
1	3月12日	ペットボトル空気砲の作り方	
2	3月14日	紙トンボを飛ばそう	
3	3月15日	春のいきもの	
4	3月18日	風船ロケットを飛ばそう	
5	3月20日	ぶくぶく発泡入浴剤を作ろう	
6	3月22日	ブーブー笛を作ろう	
7	3月24日	野辺のロゼット	
8	3月26日	浮沈子でハンドパワー	
9	3月28日	春の企画展紹介(ヤマガマイマイ)	
10	3月30日	親子で作ろう！べっこうあめ	
11	4月1日	ビュンビュンごまを作ろう	
12	4月3日	春のいきもの2	
13	4月5日	風船ホバークラフトで遊ぼう	
14	4月7日	トコトコ馬の作り方	
15	4月9日	親子で作ろう！カラフル焼きそば	
16	4月17日	ブーメラン	
17	4月24日	リング飛行機を飛ばそう	
18	4月28日	空き缶マジック	逆さコップ
19	5月1日	ラムネ作り	金星を見よう
20	5月8日	簡単スライム	カワウ
21	5月15日	洗濯のりで作るスーパーボール	母の日スペシャル
22	5月22日	スーパーボールテクニク1	スーパーボールテクニク2
23	5月29日	アイスクャンディー	
24	7月3日	生クリームからバター	
イベント用動画			
25	4月21日	みんなで一緒に！恐竜体操	
26	4月25日	おもしろサイエンス動画PR動画	
27	5月3日	博物館のひみつ実験道具1『虹発生装置』	
28	5月4日	博物館のひみつ実験道具2『シャボン玉大量発生装置』	
29	5月5日	博物館のひみつ実験道具3『巨大空気砲』	
30	5月6日	博物館のひみつ実験道具4『超強力磁石』	
31	7月9日	進め！プロペラ船	
32	7月17日	飛べ！昆虫グライダー	
コラボ動画「めざせ日本一周！サイエンスショーリレー」			
33	5月29日	音で火を消す！サウンドマジック	
34	8月3日	虹の実験	
35	8月18日	空きビンマジック	

